

## 安曇野市交流学習センター運営委員会

- |   |           |  |
|---|-----------|--|
| 1 | 協議会名      | 平成26年度第3回安曇野市交流学習センター運営委員会                                 |
| 2 | 日時        | 平成27年 3月 24日 午前 10時 00分から 正午 まで                            |
| 3 | 会場        | 安曇野市穂高交流学習センター“みらい” 多目的交流ホール                               |
| 4 | 出席者       | 神谷委員長、野中副委員長、小平委員、山本委員、内田委員、清水委員、鈴木委員、宮下委員                 |
| 5 | 市側出席者     | 橋渡教育長、赤羽課長兼穂高交流学習センター所長、青柳豊科交流学習センター所長、小林課長補佐兼係長、財津係長、野中主事 |
| 6 | 公開・非公開の別  | 公開   |
| 7 | 傍聴人       | 1人 記者 0人   |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成27年 4月 15日   |

### 協 議 事 項 等

#### ○会議の概要

1. 開 会 (赤羽図書館交流課長)
2. あいさつ (神谷委員長、橋渡教育長)
3. 協議・説明
  - (1) 平成27年度事業計画について
  - (2) 損害賠償規定の整備に伴う「安曇野市図書館条例」等の一部改正について
  - (3) その他

#### ○協議概要

- (1) 平成27年度事業計画について

赤羽課長、青柳豊科交流学習センター所長、財津係長より説明。

委員・・事業計画資料には予算額も書かれているが、これは実施が決まっているのか、あるいは追加が可能なのか。次に“みらい”の重点目標に「インターネットによる公共施設予約管理システム導入の検討を進める」とあるが、それはこれから検討していくのか、それともすでに実施時期の見通しは立っているのか。また交流学習センターでも市制施行10周年事業を行うとのことだが、そこで目玉となる事業は何か。

事務局・まず事業計画だが、予算については議会で承認を受け、確定している。予算内での工夫は今後可能であるため、皆様の意見等も参考にしたい。次に予約管理システムだが、内部では、交流学習センター・体育施設・公民館が一体となり、昨年の9月頃から検討を始めている。現在は豊科地域の体育施設に導入しているが、市民の皆様の利便性向上のため、他の公共施設にも広げていこうと検討している。実施時期は未定だが、27年度に検討、28年度中の実施を目指したいと考えている。それから市制10周年事業だが、力を入れているのは「あづみの新進音楽家公開オーディション」である。オーディションという形で演奏の機会を広めるとともに、レベル向上も図っていく。他にも太鼓公演、またアンサンブル藝弦コンサートについては有料公演に加え、出前コンサートも開催する。

委員・・事業計画は追加や変更が可能ということか。

事務局・必要であれば、予算内で考えたい。

委員・・音楽に力を入れることは賛成だが、文化的・歴史的な企画があってもよいのではないか。以前、文学作品に描かれた安曇野の展示をしていたが、熊井啓の著作をはじめ、まだ他にもあるように思う。また、歴史的な写真を用いて時代比較をすると関心も高まる。前回は市民からも募集したようだがもう少し広く集め、作品や写真を

通じて安曇野の魅力を伝える企画を希望する。

- 委員・「新進音楽家公開オーディション」ジュニアの部は、10周年記念としてのみ行うのか、継続的に行う予定なのか。
- 事務局・27年度は市制10周年事業として実施、以降は今年度の成果により、検討する。現時点では未定だが、継続も考えている。
- 委員・市制10周年事業は他の団体も大きくPRする。市の行事の多くは広報のみで知らせるが、他の方法でも周知できないか。
- 委員・公開オーディションにジュニアを交えるのは新しい試みであるし、参加費の設定額もよい。ハイレベルになれば、すばらしいものになる。話は変わるが、“きぼう”北西部の美術館に通じる駐車禁止の場所に混雑時、車が停まっている。車椅子が通りにくく、身障者に厳しい対応となっているため、駐車禁止のマークをつけていただきたい。また中央図書館の検索コーナー南に、本棚の位置を示すプレートがあったが、今はない。パンフレット置き場には印刷したものが置いてあるが、やはり検索コーナーは本のある場所がわかって成り立つため、表示をつけていただきたい。
- 事務局・“きぼう”の駐車場について、確かにその場所は車椅子が多く通る箇所であり、またバラ園もある。ぜひ駐車禁止の方向で考えたい。検索コーナーの表示については、部分的に本の位置が変わったため、一時的に外してある。新たな表示の設置が遅れており、改善したい。
- 委員・“みらい”の事業に「安曇野の方言展」があるが、方言は非常に味わいがある。イントネーションもあるため、言葉だけの展示でなく、音声も取り入れていただきたい。方言寸劇や方言を使ったユニークなポスター等も用いて、多くの市民を引きつけていただきたい。
- 事務局・方言展は前回もアイデアをいただき、方言寸劇をやっておられる方の協力も得ることができた。言葉だけでなく、音で聞く展示にする仕組みも検討している。また平成19年に市が信州大学に委託した方言の調査結果も展示し、実態を知っていただきたいと考えている。さらに市民の皆様からも方言のエピソードを公募し、紹介していく。先ほども、文化的・歴史的な企画があってもよいのではというご意見をいただいた。文化課でも市制10周年にあわせ、市内の古い映像や画像を集めた展示が予定されている。そことも調整し、図書館を持つ交流学習センターでは、本や言葉に関する展示を企画したい。
- 委員・「安曇野市制10周年事業の紹介」の展示が“みらい”であるが、“きぼう”にも展示していただきたい。
- 事務局・“みらい”の他にも“きぼう”もしくは新本庁舎で展示したいと考えている。市ホームページでも情報を出していきたい。
- 委員・会議場所だが、現在の場所では大きすぎる。人数等を考慮し、ふさわしい場所で開催していただきたい。話が大きくなってしまいが、安曇野市に1000人規模の音楽ホール建設を希望する。すでに周辺の市にはこのようなホールがある。すぐとはいかなくとも、文化を大切にする安曇野市で、メジャーな演奏をきくために検討していただきたい。
- 事務局・会議場所だが、他の部屋の利用状況や広さを考えると、“みらい”の場合はここしかない。図書館やギャラリーの様子を知っていただくため、“みらい”で開催したが“きぼう”での開催も検討したい。ホールだが、“みらい”は有料公演に対応できるものとして開館し、自主公演もやらせていただいている。現在工事中である、豊科公民館のホールも28年度にリニューアルオープンするため、こちらでも“みらい”のノウハウを生かした運営を関係部局と進めていきたい。新しいホールの建設計画はないが、既存施設の利用が伸びていけば、計画を進めていけると考える。
- 委員・豊科公民館がリニューアルされるということで、期待する。施設の形にふさわしい名前をつけていただきたい。
- 委員・先ほども意見が出たが、市制10周年事業は広く市民に周知することが重要だ。また、文化の中心となる団体をつくる、安曇野市自前のオーケストラをつくるようなことも視野に入れていただきたい。
- 事務局・公開オーディションジュニアの部は、学校を通じてチラシを配布し、告知したいと

考えている。マスコミや団体を通じて、広報も充実させていく。オーケストラだが、“みらい”のホールでは舞台の大きさも考慮すると、難しいが、先ほど話した豊科公民館では、オーケストラ演奏をした経過もある。将来的にはホールの普及と連携させ、そういった活動もしていければと考える。

委員・・文化振興計画の策定に関わったことがあるが、その中にも本格的なホール建設を目指すことが盛り込まれていたことがある。市内には練習場所がなく、市外に出向く音楽関係者からも要望がある。音楽を文化振興の柱の1つにするには、1000人規模のオーケストラ演奏が可能な集客力のあるホールが必要だ。しっかりとしたホールがあれば、参加者は集まる。豊科公民館もそれなりの役割は果たすと思うが、音響設備が充実したホールを例えば20周年までにつくるといった、壮大なプランを持って進んでいただきたい。

事務局・豊科公民館のホールは使い勝手もよくなるが、耐震補強中心の工事であり、今後30年、50年と長く使っていくための改修と考えている。15年、20年の延命的措置と、その後はどうするかという議論は進めなければならない。

委員・・中央図書館に山岳の本が展示されていたが、安曇野市の図書館に行けば山岳関係の情報が全て手に入るような、他とは違った本の集め方をしていただきたい。

事務局・一昨年、山岳写真家の方から2000冊弱の貴重な山岳図書を寄贈していただき、今回展示させていただいた。まだ全てを整理できておらず、別件でも多くの山岳図書を寄贈したいといった話もいただいている。山岳図書の中には田淵行男関係の本もあり、豊科図書館にコーナーをつくる計画がある。

(2) 損害賠償既定の整備に伴う「安曇野市図書館条例」等の一部改正について  
財津係長より説明、質問等は特になし。

(3) その他

小林課長補佐より、三郷交流学習センター・堀金図書館の整備計画及び現在の進捗状況について報告。

委員・・三郷交流学習センターの駐車場が非常に狭いようだが、将来的に何か考えてはいるのか。

事務局・駐車場の意見はワークショップでもいただいている。どれくらい確保できるか把握したところ、新本庁舎開庁による職員の異動で支所北側駐車場に約50台、また道路を挟んだ南側駐車場を整備すると、さらに50～60台確保できる。そして文化公園体育館の駐車場、土日は三郷小学校駐車場の約100台も確保できるため、300台分ほどのスペースはある。他にも支所を取り壊し、センター正面にも20台確保する予定だ。行事が重なり、年に1、2回駐車しきれなくなる可能性もゼロではない。ただ新たに用地を確保するのは難しい。また、センター正面の道路整備が西側から進んでおり、二木の信号までは近々完成する。東側はまだ県としても計画が定まっていない。拡張や整備により、駐車場が減少する可能性もあるため、関係各課の連携を密にして確保に努めたい。

委員・・小学校で行事があると路上駐車もあり、大変に混雑する。新たに駐車場を確保するには経済的な問題があると思うため、行事を調整していただきたい。

委員・・資料の件で要望だが、会議を重視するのであればもう少し早く送付していただきたい。昨日の午後が届き、目を通すのが大変であった。またこの場で要望を出し、突っ込んだ話をしたいと思っても、時間がないのに加え遠慮もある。言いっ放し・聞きっ放しで終わらず、実りあるものにするために委員が来館した際、職員と話し合い交流することは可能か。

事務局・資料送付については大変申し訳なかった。以後、早く届くようにさせていただく。また来館の際、一言かけていただければ、そのような時間をつくらせていただく。

以上